

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		立川市ドリーム学園				公表日	令和8年3月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	0	お子さんの生活のしやすさを高めるため、室内の環境整備などに継続して取り組んでいます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	3	0	限られた職員数の中で安全で適切な療育を実施するため、日々の職員配置を調整しています。	業務の性質や人員体制上休憩や休暇の取得には一定の制約や調整の難しさがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	0	視覚的にもわかりやすく動きやすい環境になるよう配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	3	0	クールダウンのための空間をクラス内で作ったり、保健室、廊下、感覚統合室「わくわく」などを使用できるようにしたりしています。	個別の部屋がないので、職員が見守りながら子どもにとって最善の環境を提供できるよう引き続き検討していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	12	0	公立保育園や他市の児童発達支援センター等との情報共有を通じて業務改善に努めています。	視察、交流、研修や外部からの評価を受ける機会を増やし、俯瞰して事業の見直しができるようにする必要があります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	0	計画的に園内研修を実施するとともに、外部研修受講を設定しています。	外部研修や視察などの機会が確保できるよう業務の効率化等に引き続き取り組みます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	0	ホームページで公表するほか、対外的な行事で掲示したり、入園検診の見学の時にご覧いただいたりしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	1	0	職員間でよく話し合い、支援の方向性や具体的な方法が提案されるようにしています。	日々の観察によるアセスメントに頼る部分が多いため、アセスメント力の向上に向けて引き続き研修の充実に努めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	0	ケース会議を実施し、関わる職員一同で支援について協議し、課題や支援方法を共有しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	1	現在はインフォーマルなアセスメントを活用することが多いですが、フォーマルアセスメントの安定適実施に向けて研修を実施しています。	フォーマルなアセスメントの安定的実施に向けて研修と仕組みづくりの検討を引き続き行っていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	0	グループ毎の活動がメインですが、必要に応じて個別の活動ができるようにコーナーづくりや職員配置を行っています。	必要に応じた個別活動ができるようなコーナーづくりや職員配置について、職員間で交通認識がもてるよう、引き続き取り組みます。	

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	1	毎日、クラス毎や園全体でミーティングを実施しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	0		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	0		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2	1	移行に当たっては、保護者の了解を得て、園での取組等の情報の引継ぎを行っています。	併行通園について引き続き検討します。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	0	保護者への確認の上、引継ぎシート等を作成し、学校と情報共有と相互理解を図っています。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	未回答1	0	支援者対象の講演会と施設見学会を実施するほか、児童発達支援事業所交流会、放課後等デイサービス連絡会等に参加しています。	
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	1 未回答1	0	年間計画に基づき、研修の機会を設定しています。	外部研修や視察などの機会が確保できるよう業務の効率化等に引き続き取り組みます。
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	未回答1	0		参加の機会が確保できるよう業務の効率化等に引き続き取り組みます。
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	0	3		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	2	0	希望制で年長児を対象に月2回の保育園交流を実施しています。令和7年度は全年齢児の交流を1回実施しました。	今年度は全年齢児の交流は天候や感染症流行等の事情により、計画通りの実施ができなかったため、大人で行う大がかりな交流でなくても公園等同じ空間を過ごしたり、地域の子どもたちの姿を感じる機会をもっと増やしていけるよう、引き続き検討していきます。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	0		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0	0			
保護者への	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	0		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	0		
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	0		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	0		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	0		

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
の 説明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	1	連絡メッセージサービスを活用するとともに、さらなる改善の可能性を探っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	2	0	ドリーム学園文化祭「夢まつり」を開催し、広報、ホームページ等で市民に周知しています。	より地域に開かれた事業運営を検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	0	毎日の反省会でヒヤリハットを確認、記録し、定期的に振り返りと再発防止策の検討を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	0	外部研修に参加するとともに、園内研修も実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	2	0	身体拘束の判断やより適切な対応について、園内研修ではグループワークにより意見交換しています。	職員間で更に意見を発言しやすい職場環境を整えるとともに、よりよい支援方法について共通認識が持てるよう継続して研修を実施していきます。	